

# 日本ニュービジネス協議会連合会

## グローバル委員会 2025

海外視察 in インドネシア

実施報告書

### 目次

- I 参加者名簿
- II 概要
- III スケジュール
- IV 観察内容 & レポート
- V 参加者アンケート

## I 参加者名簿

19名+事務局2名+添乗員1名 計22名（敬称略）

	氏名	NBC 役職	会社名（学校名）	会社役職
1	深沢 栄治	東京 NBC 副会長／ グローバル委員会 担当副会長	株式会社光・彩	代表取締役社長 CEO
2	辰野 元信	理事／ グローバル委員会 委員長	株式会社 Univein	代表取締役社長
3	谷村 真	理事／グローバル 委員会副委員長	株式会社 gr.a.m	代表取締役
4	大村 貴康	理事／グローバル 委員会副委員長	一般社団法人日本国際化推進協会	代表理事
5	高橋 順	理事	CXO 俱楽部株式会社	代表取締役
6	田子 みどり	特別理事	株式会社コスモピア	ファウンダー
7	津嶋 栄	理事	株式会社日本経営センター	代表取締役
8	山本 修義	グローバル委員会 副委員長	株式会社プラス	代表取締役
9	西川 真史	グローバル委員会 副委員長	株式会社キュービット	代表取締役
10	中尾 剛	グローバル委員会 副委員長	株式会社ファーストパートナーズ	代表取締役
11	島田 真衣	グローバル委員会 副委員長	株式会社事務のしばたさん	代表取締役社長
12	橋 健吾	グローバル委員会 副委員長	東京大学大学院／株式会社 Essen	D3／代表取締役
13	小林 けん		株式会社金太郎 Cells Power／ 株式会社 ALEX	執行役員 CBO／ 代表取締役
14	笹沢 竜市		タウンライフ株式会社	代表取締役社長
15	加藤 夏美		N.K ナーツ株式会社	代表取締役社長
16	西尾 昌樹		合同会社 revive	代表社員
17	横島 正夫	神奈川 NBC	株式会社マキシマム・テクノロジー	代表取締役社長
18	田村 俊夫	高知 NBC	株式会社ワークショップ	代表取締役社長

19	権藤 光枝		株式会社 Branches	代表取締役
20	小澤 松彦	事務局	(一社) 東京ニュービジネス協議会	専務理事
21	伊原 智哉	事務局	(一社) 東京ニュービジネス協議会	
22	川代 千恵子	添乗員		

## II 概要

日程：2025年11月5日（水）～9日（日）

人数：22名

宿泊先：The Sultan Hotel & Residence Jakarta／Pullman Bali Legian Beach 他

主催：公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会／一般社団法人東京ニュービジネス協議会

### III スケジュール

日付	時間	スケジュール	備考	宿泊先	食事
1日目 11月5日 (水)	日中	各自インドネシア（ジャカルタ）渡航			
	19:00	一空港からホテルへ移動（約1時間）	専用バス		
	20:00	チェックイン			
	20:30	視察団夕食会	会場：NAN XIANG STEAMED BUN RESTAURANT（中華料理）	The Sultan Hotel & Residence Jakarta	朝：各自 暮：各自 夜：○
	23:00	<The Sultan Hotel & Residence Jakarta泊>			
2日目 11月6日 (木)	8:45	ホテルロビー集合	ホテル： The Sultan Hotel & Residence Jakarta		
	8:50	一移動一	専用バス		
	9:30	ABC クッキングインドネシア様視察	会場：Senayan City内		
	10:40	ランチ＆自由行動（グループごと）	会場：Senayan City内		
	12:45	一移動一	専用バス		
	13:30	VENTENY様視察	場所：VENTENY本社		
	14:45	一移動一	専用バス		
	15:30	JICAインドネシア様視察	会場：JICAインドネシア事務所	The Sultan Hotel & Residence Jakarta	朝：○ 暮：各自モール内 夜：○
	16:30	一移動一	専用バス		
	17:30	ホテル	※ホテルでおくつろぎください スルタンホテル以外の方はロビーにて おくつろぎください。		
	18:15	一移動一（時間：30分程）			
	19:00	ディナー	会場：美卯（日本食）		
	21:00	一移動一（時間：30分程）			
	21:30	ホテル到着			
		<The Sultan Hotel & Residence Jakarta泊>			
3日目 11月7日 (金)	9:00	ホテルロビー集合	ホテル：The Sultan Hotel & Residence		
	9:15	一移動一（時間：30分程）	専用バス		
	10:00	貿易省（事務次官）訪問	会場：確認中		
	11:00	一移動一（時間：1時間30分程）	専用バス		
	11:30	自由行動（Plaza Indonesia内）	会場：Plaza Indonesia		
	12:30	いしがまやハンバーグ様より説明	会場：いしがまやハンバーグ InPlaza Indonesia		
	13:00	ランチ	会場：いしがまやハンバーグ InPlaza Indonesia	Pullman Bali Legian Beach	朝：○ 暮：○ 夜：各自空港内
	14:15	一移動一（時間：1時間45分程）	専用バス		
	16:00	スカルノハッタ空港到着			
	17:45	バリ（デンパサール）へ飛行機移動 17:45-20:40	GA 4182 CGK 17:45-DPS 20:40		
	21:15	一移動一（時間：30分程）			
	22:00	ホテル到着			
		<Pullman Bali Legian Beach泊>			
4日目 11月8日 (土)	8:45	ホテルロビー集合	専用バス		
	8:50	一移動一	会場：Timedoors Indonesia		
	10:00	Timedoors様視察			
	11:30	一移動一			
	12:00	ランチ	会場：The Jungle Club Ubud		
	13:15	一移動一			
	14:00	(一社) Earth Company様視察	会場：Manu Earthly Paradise	Pullman Bali Legian Beach	朝：○ 暮：○ 夜：○
	15:30	一移動一			
	16:00	B.H.O.B様視察	会場：Bumi Herbs Oditi Bali		
	17:30	一移動一			
	18:00	ディナー	会場：Kabana Ubud		
	19:30	Hikaria見学	会場：Hikaria		
	20:00	一移動一			
	22:00	ホテル到着	ホテル：Pullman Bali Legian Beach		
		<Pullman Bali Legian Beach泊>			
5日目 11月9日 (日)	5:00	ゴルフ組 ホテルロビー集合	①：1群防衛の方： 15時半まで自由行動		
	5:20	一移動一 ※専用バス	②：別以外の方： 終日自由行動 空港まではご自身手配の上、向かってください		
	6:57	ゴルフコンペ（4名）			
	13:00		場所：New Kuta Golf		
	12:00		各自チェックアウト		
	13:00	ゴルフコンペ終了			
		Pullman Bali Legian Beachホテルロビー前に集合 (王様訪問の方)	場所：Pullman Bali Legian Beach		
	14:40				
	15:00	一移動一（2時間程）			
	17:00	ディナー	場所：TUWU TROPIC CLUB & DINING		
	17:50	一移動一（数分程）			
	18:00	王様訪問	場所：Puri Langon Ubud		
	20:00	一移動一（約2時間程）			
	22:00	シングラ・ライ国際空港着			
		①：0:55発 【中国東方航空】			
		②：0:50発 【フィリピン航空】			
		③：1:10発			
		翌朝 各自解散			

## IV 観察内容＆レポート

### 11月5日(水)【観察団結成夕食会】

The Sultan Hotel & Residence Jakarta 到着後はホテル内の中華料理店で夕食会を開催、グローバル委員会の深沢副会長、辰野委員長より観察の成功を祈念する挨拶があった。また、特別ゲストとしてインドネシアでご活躍されている事業家を3名迎えた。“現地で56年事業を展開するマンダムインドネシア”的常務 伊澤禎二氏、“現地100店舗を超え、200店舗を目指す丸亀製麺で2人しかいなかった日本人スタッフのうちの1人（元）”榎本憶人氏、日系進出支援を行う山下冬馬氏のお三方も参加され、インドネシアビジネスの成長性、素晴らしさ、難しさなどについてお話し下さいました。現地の成長性とは裏腹に、日本でのマーケットに対する注目度が低いことを非常に残念に思われていて、日本企業の進出をお互い助け合いながら増やしていきましょう、とのメッセージを頂いた。翌日以降の観察活動への期待を高める、大変有意義な時間となった。



### 11月6日(木) 【ジャカルタ市内、企業観察】

#### ① ABC クッキングスタジオインドネシア訪問

2日目、最初の観察先として、日本国内でも料理教室を多数展開する ABC Cooking Studio のインドネシアスタジオを訪問。インドネシア進出当初より同社の事業に深く携わってこられたサリー・プトリ・セブリナ氏より、インドネシア市場への参入から現在に至るまでの具体的な歩み、事業展開における課題とその克服、そして現時点でインドネシア国内に展開されている4つのスタジオそれぞれの特性や、戦略的なロケーション選定について話があった。自分達のフィロソフィーを中心、インドネシアの文化も尊重し、着実にファンを増やしていき、更には緻密にエリア毎の特性を分析し、サービスも変えていく企業姿勢に参加メンバーは大きな感銘を受けていた。

質疑応答では、参加メンバーから現地ビジネスモデルや消費者動向に関する質問が多数挙げられたが、サリー氏より一つひとつ丁寧な回答を得て、理解を深めた。また、当日の料理教室の活気ある様子を見学、現地生徒の皆さんのが熱心な取り組み姿勢や、スムーズなスタジオオペレーションを間近で体感し、イ

ンドネシアにおける同社の成功要因を肌で感じることができた。日本のサービス業が海外市場へ適応し、成功を収めた事例として、大変貴重な学びとなった。

スタジオ見学後は各グループに分かれて、 Senayan City Mall 内にて昼食。



## ② VENTENY 訪問

インドネシア証券取引所 (IDX) において日本人として初めての上場を果たし、急速に発展するインドネシア金融市场における日本企業の成功例として注目される VENTENY 様を訪問。創業者である和出潤一郎氏より、ファイナンスや福利厚生が十分に整備されていないインドネシア市場特有のニーズに応える同社の革新的なビジネスモデル、また、インドネシア証券取引所上場という偉業を達成するまでの苦労、厳しい市場競争の中で成功を収めることができた要因、および今後の成長戦略について説明があった。

質疑応答では、参加メンバーからの関心の高さを示すかのように、時間内に収まりきらないほど多くの具体的な質問が寄せられた。インドネシアに移り住み、コロナを除いて 3 年で上場を果たしたその方法と再現性、日本との違いについての質問が集中し、丁寧な回答を頂いた。現地の金融市场やスタートアップの動向に対する視察団の高い関心と、VENTENY 様の事業が持つ将来性を裏付けるものと言える。

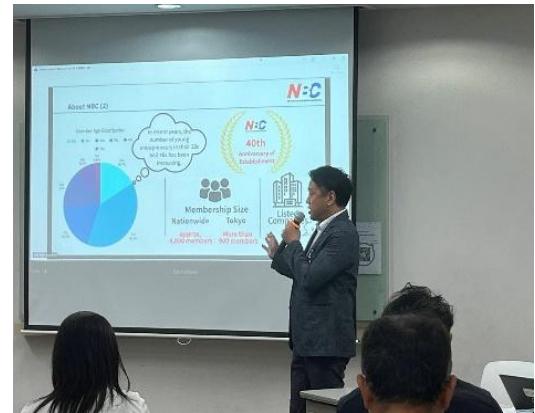
インドネシアでの事業展開におけるスケールアップの可能性と、日本人が現地で大きな成果を挙げるための知見を得た。



### ③ JICA（インドネシア事務所）訪問

2日目の視察の締めくくりとして、インドネシアの経済発展と社会基盤整備に貢献し、現地の公的機関としての信頼性と情報力を有する独立行政法人 国際協力機構（JICA）のインドネシア事務所を訪問。Investment Promotion Policy Advisor を務められている天谷氏より、インドネシアの最新の投資環境について制度的な側面、産業ごとの動向、そして日本企業が直面し得る具体的な課題や機会についての分析など、詳細かつ多角的な観点から説明があった。資源を輸出し、国内の雇用を増やしたい政府と、インドネシア市場に参画したい日系企業が、どのように方向性を一致させて行き、政府も味方につけていくかの鍵と感じた。

現地のリスクとチャンスを公的機関としての視点から把握する、極めて重要な機会となった。



### ④ 夕食会（美卯）

ゲストとして、ミス・インドネシア 2025 代表のメリサ・ハヴィエラ・ユリアン氏、視察先 VENTENY の和出潤一郎氏、この日の会場手配にも尽力いただいた山下冬馬氏が参加された。充実した視察を経たこと、そして魅力的なゲストの参加もあり、視察団の関係が一層深まった様子がうかがえた。



## 11月7日(金)【ジャカルタ市内企業視察】

### ① インドネシア貿易省 国家輸出開発総局 Deden Muhammad F S 氏表敬訪問

インドネシア共和国の経済政策の要、貿易省を訪問。辰野委員長より NBC の活動内容と視察団の目的について説明、貿易省 Deden Muhammad F S 様より、同国と日本のスタートアップなどの可能性について話があった。質疑応答セッションでは、インドネシア進出に際して日本企業が直面するであろう貿易規制、市場アクセス、投資優遇策など、実務的な課題に焦点を当てた具体性のある質問が多く出され、現地進出の実現可能性について、深く掘り下げた議論が展開された。こちらでもやはり、「輸出」「雇用」というキーワードが多く出て、政府の関心がそこにあることが再認識された。貿易省の官僚トップである Deden 氏は義理の家族に日本人がおり、大変な日本顛覆であり、メンバーと WhatsApp の交換もオープンにして頂けたため、今後進出を検討される方には幸運な出会いであったかも知れない。

Deden Muhammad F S 様より、視察団への記念の盾が贈呈された。



### ② いしがまやハンバーグ

高級ショッピングモール、Plaza Indonesia 内に出店する「いしがまやハンバーグ」様を訪問。現地にて同店舗を運営されている PT. KICHIRI RIZKI ABADI 代表取締役社長の城所将太氏より、インドネシア市場における事業展開の歩み、日本とインドネシアという異なる文化圏での店舗運営における違い、今後の展開計画や成長戦略について、現場の視点から詳しい説明があった。現地徹底カスタマイズをした丸亀製麺とは対照的に、「ハンバーグ」が根付いていないインドネシアで SNS 発信から始めて徐々に市民権を得て、日本の味でのハンバーグの文化を定着させた手腕は大変参考になった。

説明会終了後は、おすすめメニューの昼食を摂りながらの交流の場となった。



## 【移動:ジャカルタ→バリ】

谷村副委員長、大村副委員長、高橋理事、加藤氏の視察参加はここまで。

他のメンバーは「いしがまやハンバーグ」視察後は空港に向かい、ガルーダインドネシア航空国内便にて次の視察先であるバリへ移動し、Pullman Bali Legian Beach にチェックイン。

### 11月8日(土)【バリ島企業視察】

#### ① Timedoctor 訪問

「2024 年度グローバル大賞 海外アントレプレナー賞 最優秀賞」を受賞された徳永裕氏が CEO を務める Timedoctor 様を訪問。同社は、IT 教育事業などを中心に、現地の子供や若者の人材育成を行っている。徳永氏より、ご自身の生い立ちから思いがけずバリ島で起業することになるまでの経歴、同社が現在展開する IT 教育事業の具体的な内容とその社会貢献性について、熱のこもったプレゼンテーションがあった。インドネシア、特にバリでは教育環境が十分に整っておらず、それを補完し、解決するための独自の教育プログラムについての説明は、参加者にとって非常に示唆に富むものだった。

質疑応答では、IT 分野における現地のニーズや、アントレプレナーとしての成功の秘訣などについて質問が集中した。日本のノウハウを海外で展開し、現地社会に根付かせる成功事例として、大きな学びとなった。



#### ② Mana Earthly Paradise 訪問

「2022 年度グローバル大賞 海外アントレプレナー賞 優秀賞」を受賞した、一般社団法人 Earth Company 様が運営する、Mana Earthly Paradise を訪問。代表の濱川知宏氏より、同社を設立された経緯、そして「地球を愛する人を育む」という理念に基づいた「インパクトヒーロー事業」、環境への配慮、地域社会への貢献、持続可能なビジネスモデルの構築などへの取り組みについてプレゼンテーションがあった。その後、自然素材や再利用素材によって建築された宿泊施設、エネルギー設備などを見学、運営の細部に至るまで、サステナビリティが徹底されている様子を間近に見学し、理念を体現する運営体制に

について深く理解することができた。



### ③ B.H.O.B (Bumi Herbs Odit Bali) 訪問

ナチュラル＆オーガニックブランドを展開する B.H.O.B (Bumi Herbs Odit Bali) 様を訪問。サステナビリティが重視されるバリ島における同社の事業内容と取り組みは、参加者の高い関心を集めた。

代表のヴィンセント・ユスティ氏より同社が運営するカフェにて事業内容、オーガニック原料へのこだわり、環境に配慮した取り組みについて説明があり、同社が製造・販売している製品ラインナップや、その製品が市場でどのように評価されているかについても深く理解することができた。

隣接する工場では、小規模ながら衛生管理が施された施設の中で、厳選された天然素材が人の手によって丁寧に製造される過程を見学した。バリ島の豊かな自然という資産を活かしたビジネスモデルと、製品への高い品質意識、働く人々の取り組み意識の高さを感じる機会となった。



### ④ Hikaria 訪問

バリ島での観察最終プログラムは Timedoors 様が運営する、光のプロジェクトマッピング「Hikaria」。「日本の先進的な IT 技術と、バリ島の豊かな文化や自然を融合させたエンターテイメントコンテンツであり、そのクリエイティブな発想が参加者の注目を集めた。



## 11月9日(日)【エクスカーション・帰国】

最終日は視察プログラムは無く、ゴルフ、バリ島観光、ウブド王様訪問など、視察とは異なる視点からバリを体験した。ウブドの王様は現在統治権はもちろんないものの、事業で成功され地元への還元も継続して行われているため、現地でも非常に慕われて尊敬されている王様で、宮殿とミュージアムが合わさったような大豪邸に住まわっていた。過去に行った日本人とのビジネスはトラブルゼロであると言われ、「バリの文化を尊重し、日本の文化を尊重した上で、心から湧き上がるものがあったとき、そのビジネスについてお話ししましょう」と言って頂き、「我々は今日からファミリーなのだから、いつでも訪ねに来てください」とも言われ、メンバーもその包容力に感動して帰途についた。



## まとめ・今後の関係について

今回のインドネシア視察では、ASEAN 最大の経済圏であるインドネシアの圧倒的な成長ダイナミズムと、日本企業が成功する可能性を肌で感じることができた。

特に、現地で活躍する起業家から直接情報を得た事業ノウハウや公的機関からの投資環境情報は、市場のリアルな姿を把握する上で極めて貴重なものとなった。インドネシアは平均年齢が非常に若いこともあり IT 分野やサステナビリティへの関心が高く、日本の経験や技術が強く求められていることを改めて認識した。この若く、エネルギー溢れる市場が今後どのように発展していくのかは注視に値する。

そして、Timedoors と一般社団法人 Earth Company という過去のグローバル大賞受賞企業 2 社へ訪問

したことは実際にその事業を目にしてすることで具体的な事業展開への理解をより深めることができ、また、受賞企業と NBC、参加した会員経営者との関係を深める機会となった。

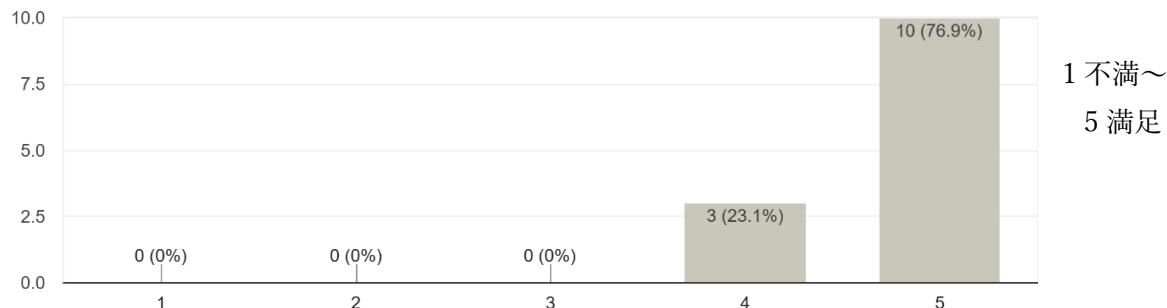
今後、インドネシアに進出する会員企業があった場合には、このネットワークが生きてくることになり、グローバル大賞と海外視察の好循環を生み出すことができたのではないだろうか。

視察で得た情報、具体的な知見と築いた関係性を元にインドネシアの対話や連携を継続し、今回不参加の NBC 会員企業にも展開、具体的なビジネス機会の可能性を探りたい。

## V 参加者アンケート 回答数 13 件 (18 名中)

### 視察全体の満足度

13 件の回答



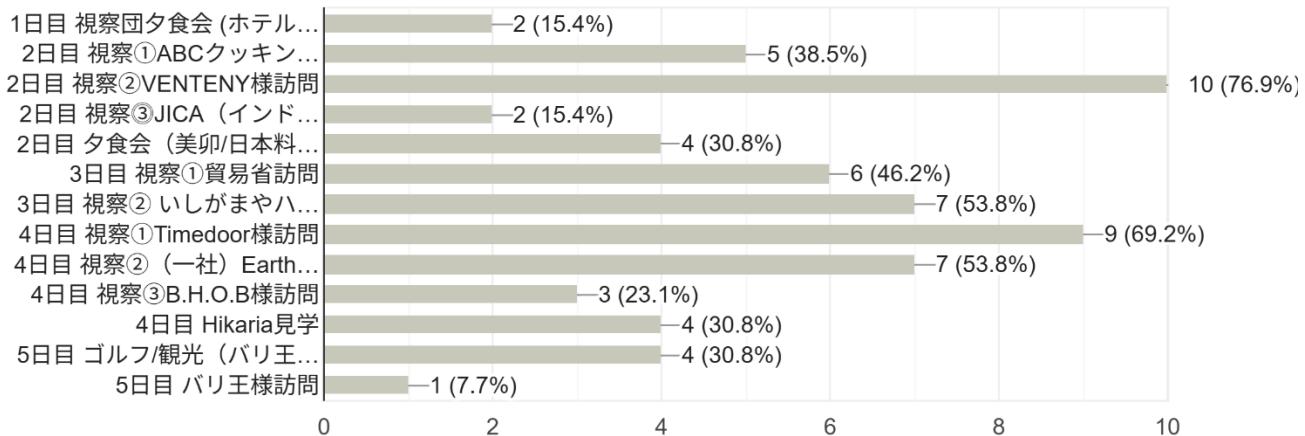
### 【視察全体に関する感想（一部抜粋）】

- ・思った以上にとても内容が濃かったです。現地で活躍する日本の企業の方々の想いと、現地の経済や思想なども知れてとても充実しました。
- ・各社を訪問し現地の生の声を聞いたことで、インドネシア国内の成長性と市場変化のスピード感を実感しました。日本との価値観や働き方の違いも新鮮だと感じ、連携の可能性を強く感じる視察になった。
- ・前回のカンボジアは投資がメインでしたが、今回は生業が活かせるネタの宝庫で大変よかったです。
- ・訪問先もスケジュールも申し分無く良かったです。
- ・現地で活躍する日本人起業家の皆様とハイタッチに接することが出来て、大変有意義でした。また政府機関（貿易省）の局長への表敬訪問も等身大の意見交換となり、有意義だったと思います。ウブドの王様との接見もユニークで良い経験になりました。

- ・他にも海外で活躍している経営者がいたので皆さんで視察行けたら良かったなーと感じた。
- ・学びと参加者の体験共有とともに満足度が高い。総じて良い旅でした。

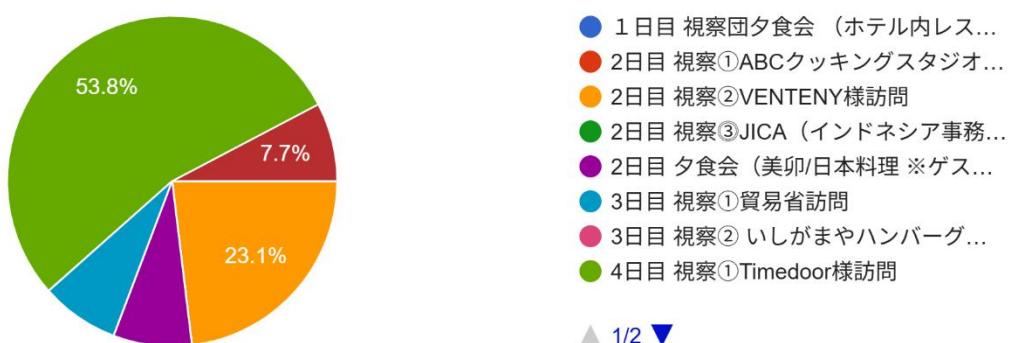
#### 本視察のプログラムの中で満足度の高かったものを選択ください（複数選択可）

13件の回答



#### 視察のプログラムの中で【いちばん】満足度の高かったものを選択ください

13件の回答



▲ 1/2 ▼

#### 【視察のプログラムに関する意見】

- ・狭いバスでの移動、連日の会食、ヒトによっては二次会と、かなり密接な団体行動になります。インフルエンザ、コロナ感染のリスクも考えたほうが良いと感じました。事務局、参加者それぞれのリスクも増えますが、出発前の陰性チェックの義務化や、体調不良の方には辞退を促すなど、自主管理体制を強化したほうが良いような気がします。また、視察中の行動についても同様で、会食時の席の移動は交流を深めるために、とても有効ですがリスクも大きくなることを運営側も参加者も自覚し、注意喚起を促したほうが結果として良いのではと思います。例えば、自家箸と取り皿は持ちまわり、菜箸で料理を取ることをルール化するなど。あまり厳しすぎると煙たがられますが、逆

に、そんなに心配する人にはお勧めしませんという告知もあるかもしれません。なかなか難しい問題ですが、一度検証頂けますと幸いです。

- ・日本企業の視察も良いのですが、現地企業の視察もしたいと思いました。
- ・個別の要件も許容いただき、大変助かりました。
- ・豪華なホテルに宿泊する必要はなく、繁華街など利便性を優先した方がいいかと思いました。

#### 【今後の視察に関する意見】

- ・現地集合現地解散のスタイル、何がどこで起こるか分からぬある種のスリル。この方式は堅持願います。
- ・去年より食事が充実していたので満足です。今回、具体的な話に進みそうな参加者がいたので良かったです。
- ・現地企業にアテンドいただくのは、個人の経験上もかなり良いと思います。
- ・海外で活躍している一定以上の経営者の話を更に聞けるようすと NBC の海外視察バリューがもっと高くなり、しいては新規会員増にもつながると感じています。
- ・年一回の国内企業視察を検討してほしい。

以上